



**Android が FIDO2 認定を取得、
これによりパスワードからの移行がグローバルで加速
(国際版の日本語訳)**

グローバルで 10 億台を超える Android 7.0 以降のデバイスでモバイルアプリと
ウェブサイトからシンプルで安全な生体認証によるログインを提供する FIDO 標準を活用可能

2019 年 2 月 25 日、バルセロナ - [FIDO アライアンス](#)は本日、Android が FIDO2 認定を取得し、このプラットフォームが搭載されている 10 億台以上のデバイス上で、シンプルで堅牢な認証機能が利用可能となったことを発表しました。このニュースを受け、Android 7.0 以降を搭載している互換性のあるデバイスは、デバイスを箱から取り出したその時点で、もしくは Google Play 開発者サービスの自動更新後に FIDO2 認定を取得している状態となります。これにより、ユーザーはデバイスに内蔵された指紋センサーを利用して、FIDO2 プロトコルをサポートする Web サイトで安全なパスワードレスでのアクセスが可能になりました。

Web およびアプリ開発者は、既に対象となる Android デバイスを利用しているユーザーと将来新型デバイスにアップグレードする予定があるユーザーの両方を含めて急速に拡大しているエンドユーザーの基盤に対し、シンプルな API の呼び出しを通して Android アプリや Web サイトに堅牢な FIDO 認証を追加することで、パスワードレスとフィッシング耐性を有するセキュリティを提供することができます。

Google のプロダクトマネージャーであるクリスチャン・ブランドは、「Google は、FIDO アライアンスおよび W3C と長い間連携して FIDO2 プロトコルを標準化してきました。これにより、あらゆるアプリケーションがフィッシング攻撃に対する保護を提供しながら、パスワード認証から移行することができます。Android の FIDO2 認定取得に関する本日の発表は、我々のパートナーおよび開発者に対して既に市販されているモデルと今後発売されるモデルの両方のデバイスにわたり、安全なキーストアにアクセスするための標準的な方法を提供することで、ユーザーが便利に生体情報を管理できるようになり、このパスワード認証からの移行の取組みを前進させる一助となります」と述べています。

主要な Web ブラウザである [Google Chrome](#)、[Microsoft Edge](#)、[Mozilla Firefox](#) ([Apple Safari](#) はプレビュー版でサポート) で既にサポートされている FIDO2 は、World Wide Web Consortium (以下、W3C) の [Web 認証仕様](#) とそれに対応する FIDO アライアンスの [Client to Authenticator Protocol \(デバイス間連携仕様。以下、CTAP\)](#) で構成されています。すなわち、このような標準化によって、ユーザーは指紋センサー、カメラ、および/または FIDO セキュリティキーなどの FIDO2 準拠のデバイスを利用して、より簡単かつ安全にオンラインサービスにログインがすることができます。

FIDO アライアンスのエグゼクティブディレクターであるブレット・マクドウェルは、「FIDO2 は、当初からプラットフォームによって実装されることを想定し、私たちが毎日使うすべての Web ブラウザ、デバイス、およびサービス全体にまたがるユビキタスという最終的な目標を掲げて設計されました。Google からのこのニュースによって、FIDO 認証機能を利用できるユーザーの数が劇的かつ決定的に増えました。既に FIDO2 に準拠している主要な Web ブラウザと共に、Web サイト開発者がパスワードの危険性と煩わしさからユーザーを解放し、FIDO 認証を実装する時が今ようやく来たのです」と述べています。

FIDO2 のシンプルなユーザー体験は、ユーザーは意識することなく堅牢な暗号的セキュリティによって実現され、奪取された資格情報 (認証情報) を利用したフィッシングおよび中間者攻撃から保護します。[昨年春に Web 認証仕様を勧告として導入して](#)以来、FIDO2 のサポートが拡大しています。ブラウザとプラットフォームのサポートに加えて、いくつかの FIDO2 認定製品も既に発表済です。

デバイスを箱から取り出したその時点で FIDO 認定がとれていることを示し、Android デバイスに FIDO 認定ロゴを表示することに関心があるデバイスメーカーは、FIDO アライアンスの新しい商標とサービスマークの使用許諾[契約書](#)を参照する必要があります。

FIDO 認定について

FIDO アライアンスは、生体認証やセキュリティキー、クライアント、サーバーなどの認証デバイスが、FIDO2 を含む FIDO 仕様に準拠していること、および特定のセキュリティプロファイルを満たしていることを検証し、その認定を行います。これにより、Web ユーザーは、FIDO 対応のすべての Web サービスにわたり、自身の FIDO 認定デバイスをシームレスに利用できるようになります。Web サイトと組織は、そのサイトを一度 FIDO 対応にするという作業が必要ですが、あとは市販されているあらゆる FIDO 認定デバイスからアクセスできるようになります。

端末メーカーはセキュリティレベルの試験に参加することで、追加の要求仕様を満たしていることを示し、デバイスをさらに差異化することができます。この試験では、ユーザー認証資格情報がどの程度堅牢に保護されているかが評価されます。

[FIDO2](#) に関するより多くの情報や [FIDO 認定](#) プログラムへの参加に関心のある[開発者](#)および製品ベンダーに向けた資料は、FIDO アライアンス Web サイトでご覧いただけます。Mobile World Congress に参加され

る方は、2 番ホールと 3 番ホールを挟む上部通路にある FIDO アライアンスメンバーパビリオンにも是非お立ち寄り下さい。

FIDO アライアンスについて

「高速なオンライン ID 認証」を意味する FIDO (Fast IDentity Online) アライアンス www.fidoalliance.org は、セキュリティと利便性の両立をめざすため、2012 年 7 月に設立されたグローバルな非営利団体です。堅牢な認証技術に相互運用性が確保されていない状況を改善し、ユーザーが多くの ID とパスワードを覚えなければならないという煩わしさを解消することを目的としています。FIDO アライアンスは、認証におけるパスワード依存を軽減するために、オープンで拡張性と相互運用性のあるシンプルで堅牢な「FIDO 認証」を標準化することで、オンラインサービスの本質に変革をもたらします。FIDO 認証はオンラインサービスの利用時に、堅牢でプライバシーが確保された便利な認証を提供します。

FIDO アライアンス PR 担当者

FIDO アライアンス

アジア・パシフィック マーケット開発マネジャー

土屋 敦裕

info@fidoalliance.org